

ハッピーマリッジ事業

アナ： 「市長が語る 2025 三島」 第18回の今日は、「ハッピーマリッジ事業」についてお話を伺います。 豊岡市長、よろしくお願ひします。

市長： よろしくお願ひいたします。

アナ： 令和7年度の新たな取り組みである「ハッピーマリッジ事業」ですが、取り組まれたきっかけや、事業の目的などを教えてください。

市長： 三島市では、これまでにも、子どもの発育や成長段階に応じた子育て支援策を広く展開してまいりましたが、全国同様に出生数の減少は顕著であります。

そこで、これ以上の少子化を食い止めるには、これまでの子育て支援策に加え、出会いの場の創出等、結婚支援策も行う必要があると考え、今年度、新たにこども未来課内に「一緒に描く未来室」を設置いたしました。

結婚に対する多様な価値観を前提に、若い世代の結婚希望の願いが叶うよう、国の交付金を活用しながら、市独自の少子化対策を進めているところであります。

アナ： 市独自の少子化対策に取り組まれるとのことですが、具体的にどのような事業を展開する予定なのでしょうか。

市長： まず、本事業のキャッチフレーズであります「～来い×恋三島～」をイメージするロゴマークが7月上旬に決定いたしました。今後は、このロゴマークを事業の冠としながら、各種事業を展開していく予定であります。具体的には、成婚促進事業として「スポーツ観戦縁結び事業」、出会いの場の創出事業として「ふじのくに出会いサポートセンター登録優待制度」と「みしまの未来に繋げる同窓会開催事業費補助金」を創設いたしました。

また、三島でのライフデザインについて考えていく「みしまライフデザインセミナー」や、少子化対策の取り組みを広くPRする「恋活プロモーション事業」等も行ってまいります。このような事業を通じて、若い世代の結婚、子育てに対する前向きな希望をかなえられるよう、多方面から力強くアプローチしてまいりたいと考えております。

アナ： 若い世代の出会いから結婚までをサポートする事業が目白押しですね。これらの事業の中で、目玉事業のようなものはあるのでしょうか。

市長： 「スポーツ観戦縁結び事業」となります。この事業は、成婚促進に向け、本市と協定を結ぶ3つのプロスポーツチームの観戦バスツアーをこの秋口から3回実施いたします。また、この事業のフォローアップとして、婚活コーディネーターとしてご活躍されている荒木直美さんの講座と交流イベントを来年1月に開催いたします。

アナ： 荒木さんはメディアで拝見したことがあります、婚活界では有名な方と

認識しています。講師として三島にいらっしゃるのですね。

市長： はい。荒木さんは「婚活界の松岡修造」、「婚活界のアロンアルファ」、
「歩くカップル製造機」等の異名を持ち、これまでに婚活イベントで成立させた
カップル数は約2,500組と言われています。三島市での取り組みに対しましても、
全面的にご協力いただけるとの力強いお言葉をいただいておりますので、
結婚を希望される若い世代の方は、この機会にぜひスポーツ観戦縁結び事業に
ご参加いただきたいと思います。

アナ： 全国でご活躍の荒木さんが、いよいよ三島にもいらっしゃるとのことでの、
ぜひスポーツ観戦バスツアーに続きフォローアップ講座にも多くの方のご参加を
いただきたいですね。

市長： そうですね。他の事業もいずれも市独自のユニークな取り組みでありますので、
詳しくは三島市ハッピーマリッジ事業で検索ください。若い世代の皆さまの
結婚の願いが叶うよう、また、三島市で素敵なライフデザインが描けるよう、
全力でサポートしてまいります。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。